

平成 30 年 6 月 14 日
一般社団法人 日本電機工業会
スマートホーム委員会

白物家電のセキュリティ対策について

1. 当会所管製品（主な品目）

生活環境・冷暖空調関連機器（ルームエアコン、電気掃除機、換気扇、扇風機等）
調理厨房関連機器（電気冷蔵庫、電子レンジ、電気炊飯器、ジャーポット、クッキングヒーター等）
ホームランドリー関連機器（電気洗濯機、衣類乾燥機、電気アイロン等）
理美容関連機器（電気かみそり、電気バリカン、電動歯ブラシ等）

2. 白物家電の現状

昨今、インターネット経由で操作可能な白物家電製品（エアコン、洗濯機等）が徐々にではあるが拡大しつつある状況となり、従来享受できなかった利便性を得られるようになった反面、ネット接続に際して①セキュリティの確保、②安全性の確保（見えないところからの家電製品の操作）、③接続性の確保（機器間の相互接続性向上）、④プライバシーの確保（個人情報の収集・利用のルール）、⑤ユースケースの検討（IoT 活用による新たな利便性の創出）等、様々な事項に対応する必要が生じている。特にセキュリティ確保は、DDoS 攻撃の脅威を含めて安全性の確保と共に最も重要な課題の一つと捉えている。

3. 当会における検討体制

2017 年 7 月に「スマートホーム委員会」を設立し、インターネットに接続可能な白物家電（スマート家電）の上記 5 つの課題と普及促進に関する課題を検討すると共にセキュリティに関する全般的な検討を実施。

4. セキュリティ確保に関する今後の対応について

従来から各社は、パスワードの設定を始め「IoT セキュリティガイドライン」等を参考に各社毎にセキュリティ対策を実施。

また、昨年末に経済産業省に設置された産業サイバーセキュリティ研究会及びそのサブワーキンググループの動向を注視し、セキュリティ対策の全体像を整理した「サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク（案）」を参考にサプライチェーン全体を意識したセキュリティ対策に役立てたいと考えている。

以上のように行政と今まで以上に緊密に連携を取る一方、関係団体とも連携を取りながら、当会としても自主的な対応を継続して行って行きたいと考えている。

以 上